

中等教育学校・4 学年（高等学校・1 学年）・情報科・Webデザイン①

育成を目指す資質・能力

創造力を発揮してチームでテーマに基づいたWebサイトを企画・制作する活動を通して情報活用能力やチームで働く力を、情報の収集・整理・分析・統合・発信の活動を活動そのものや作品の改善につなげることを通して問題発見・解決能力を育成することを目指す。

ICT活用のポイント

学習支援ソフトを活動のプラットフォームとして位置付け、チームの情報共有や協働作業、個人の学びの蓄積や活動の振り返り等を行うことにより、チームや個人の課題解決を円滑に行うことが出来る。

Webページの企画・設計



Webサイト制作



レビュー・統合テスト(検証・改善)



ギャラリーウォーク(検証)

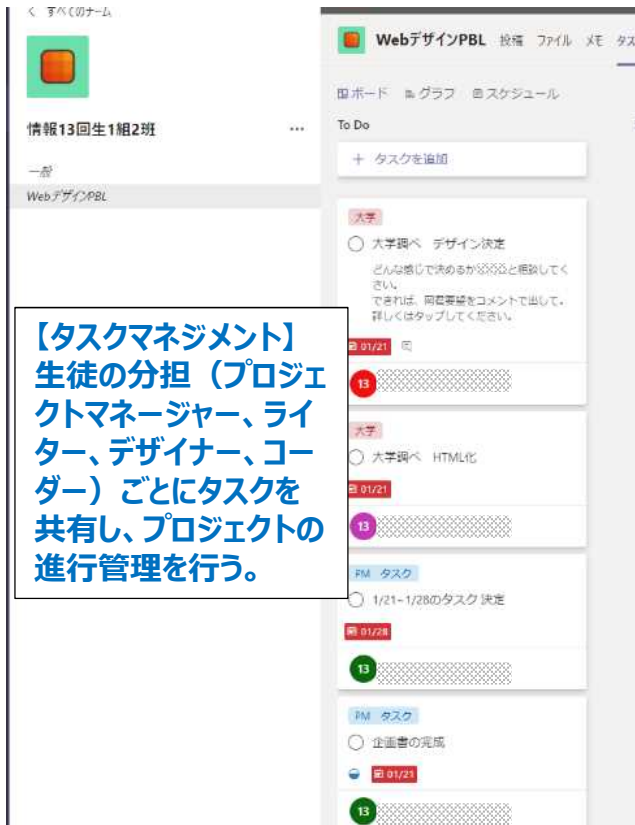


リフレクション

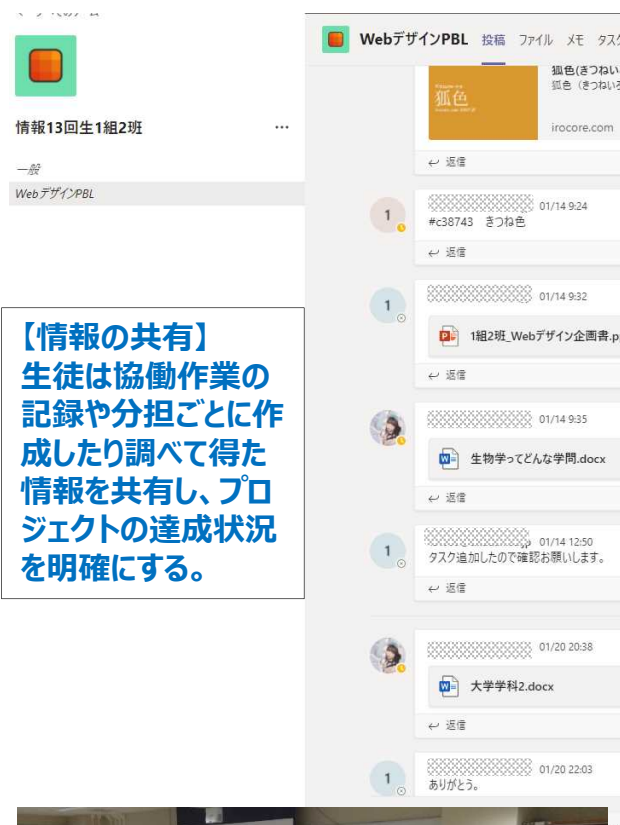
事例の概要

本事例は、情報デザインの題材として、チームで協働してWebデザインを行い、問題を発見・解決する活動を通して行う学習活動を、学習支援ソフトの活用という視点で整理したものである。情報の共有や、プロジェクトのタスク管理、個人の振り返りを学習支援ソフト上で行うことで活動の状況が可視化され、プロジェクトの進行管理を円滑に行うことが出来た。学習支援ソフトを活動のプラットフォームと位置付けることにより、生徒は常に学習支援ソフト上で記録するとともに状況を把握し、自分自身もしくは他者と何をすべきか目標を設定し活動の質の向上につなげる事が出来た。また、本事例は、当該校において生徒がこの経験を総合的な探究の時間や他教科での学びに活かすモデルとなっている。

中等教育学校・4 学年（高等学校・1 学年）・情報科・Webデザイン②



【タスクマネジメント】
生徒の分担（プロジェクトマネージャー、ライター、デザイナー、コーダー）ごとにタスクを共有し、プロジェクトの進行管理を行う。



【情報の共有】
生徒は協働作業の記録や分担ごとに作成したり調べて得た情報を共有し、プロジェクトの達成状況を明確にする。



- クラウドを活動のプラットフォームとして位置付けることにより、チームの取組の共有、生徒個人での振り返り、教師による取組の把握や活動の状況に応じた必要な支援や評価をリアルタイムに行うことができる。1人1台端末の活用により、生徒は場所を選ばず活動できる。
- ライターやデザイナーが調べたことや、プロジェクトマネージャーが取りまとめた企画書等を学習支援ソフトで共有することで、共有した情報を基に意見調整を行いながら、改善を繰り返す活動が効率よく行える。
- プロジェクトマネージャーが主に担当するタスクの管理も学習支援ソフトで共有することで、全体の進行状況と分担ごとの進行状況の関係を確認し、必要に応じて協力して行う等の対応を速やかにできる。

○ 活用したソフトや機能： 学習支援ソフト、共有ノートブック